

第 13 回 国際 P2M 学会 研究発表大会
The 13th Congress of International P2M Association

春季研究発表大会 2012 へのご案内予告
「グローバル人材育成と P2M による社会再生」
～グローバル時代における教育制度改革～

実行委員会は 2012 年の春季研究発表大会を下記企画しておりますので、ご案内を予告させていただきます。

以下の大会テーマ趣旨をご参照いただき、論文投稿とご参加の予定をよろしく願いいたします。なお、研究発表コマ数は、5トラックで 25～30 コマ程度を予定していますので、早目にご投稿のご準備を推奨いたします。

1. 大会テーマと趣旨

急激な円高による経済環境の変化と産業界におけるグローバル人材が話題となっています。大企業 100 社の社長アンケート（日経調査 2011 年 7 月）によりますと、約 40% の経営者は、円高が持続すれば、3 年以内には海外に生産拠点を移転せざるを得ないと回答しています。2011 年度の設備投資は、前年度実績比で当初計画比 16.4% であるが、海外設備投資の前年度実績比は 35% 増加し（日経産業調査 8 月）グローバル化推進の傾向が強い。近年、グローバル市場で中国、韓国、台湾企業の攻勢に対し、わが国も人材育成に対して産学官で議論から実行段階へ移行しています。その一方で、東北大震災では総額 25 兆円に達する社会資本、産業基盤、人的資産を喪失し毀損いたしました。さらに 10 月にはタイで洪水が発生し、災害、経済、環境に強い社会再生が浮き彫りになっています。世界は、日本の復興計画モデルと実現に期待が高めています。そこで、春季研究発表大会は、「グローバル人材と P2M による社会再生 ～グローバル時代における教育制度改革～」を企画いたしました。大震災被害と復興状況と諸外国による支援は全世界に報道され、日本人の忍耐、協調、社会がグローバルに注目されました。被災地では外国から多数の支援チームが来日し、グローバルな救済プロジェクトやプログラムが実行されました。グローバル人材とは、単に世界の諸地域で自社利益を追求するのではなく、地域やグローバルな「社会価値」を実現する役割があります。日本政府と国民が新たな社会再生を実現して、真にグローバル人材が世界各地で活動評価を得る基盤となることも忘れてはなりません。P2M は、高い視点と広い視野を重視した革新を担う人材育成と方法論を追求しています。

平成 24 年 1 月 12 日

一般社団法人 国際 P2M 学会
会長 吉田邦夫
大会実行委員長 小原重信

2. 基調講演: 東京外国語大学 亀山郁夫学長

本大会では、基調講演にグローバル人材を育成するために、大学改革を実現された東京外国語大学の亀山郁夫学長をお招きして、国際競争下における改革ミッション、グローバル人材像、高等教育の役割と実践について拝聴する基調講演を企画いたしました。同大学は、外国語学部の1枚看板を降ろし、大胆に新たな方向に舵を切り注目されています。亀山学長は、そのグランドデザインを「世界諸地域の言語、文化、社会に関する豊かな教養と視点を持つ人材育成を意図されています。そして国立大学では、独自性の高い「言語文化学部」と「国際社会学部」に再編されました。その目的は、「国際教養人」と「国際職業人」のグローバル人材育成を強調されています。ご期待下さい。

3. 大会予定の概要

開催日と場所

開催日: 2012年4月21日 土曜日 9:30~18:00

開催場所: 開催場所: 東京農工大学 小金井キャンパス 工学部講義棟

最寄駅(JR 中央線「東小金井駅」)からの地図

http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/koganei/route/index.html#p1

構内地図

http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/koganei/campus_map/index.html

(工学部講義棟はキャンスマップの15番です。

JR 中央線「東小金井駅下車」、会場の工学部講義棟までは徒歩約15分です。)

前回まで使用した田町キャンパス・イノベーションセンターではありません。ご注意ください

「午前の部」: 9:30~12:00

3.1 会員による研究発表

論文公募

下記要領にて会員より論文の投稿を公募いたします。研究発表は下記の5トラックより選択ください。非会員で投稿を希望される方は、学会への加入を条件とします。

アブストラクト締切: 平成24年3月9日(金) 17:00

論文投稿締切: 平成24年3月23日(金) 17:00 (パワーポイントも可)

研究発表: 25~30編を予定企画いたします。

投稿規定: 学会ホームページ掲載 <http://www.iap2m.jp/text2.pdf> を参照ください。

投稿受付: CANPANセンター国際P2M学会担当 ac175-p2m@canpan.org

トラック設定

本大会では、以下の5つの発表トラックを設定しております。

- Aトラック.グローバル人材（行政、大学教育、企業戦略、海外事業、NPOの人材育成）
- Bトラック.P2Mによる社会再生（社会、地域、事業、NPOに関する多目的復興モデル）
- Cトラック.社会価値の創造（地域、環境、技術の創造的な事業創造）
- Dトラック.リスクとベネフィット（社会、企業、事業、災害、安全への挑戦）
- Eその他

「昼休み」：12：00～13：00

3.2 理事会・評議員会 開催（昼食をはさみ開催12：10～12：50）

理事、評議員の方はご予約ください。

「午後の部」

3.3 基調講演：13：10～14：40

東京外国語大学 亀山郁夫学長 「グローバル人材を育てる」

「休憩」 14：40～15：00

3.4 年次総会開催 15：00～16：00

3.5 特別パネル 16：10～18：00

テーマ「グローバル時代の実践人材育成と教育のあり方」

モデレータ 立命館大学経営学部 浅田孝幸教授

パネリスト 筑波大学 鈴木久敏理事・副学長

三井物産(株) 小野卓元常務取締役

千代田化工建設(株) 村田敏哉ヒューマン・リソース・マネジメント部 部長

東京農工大学大学院 亀山秀雄教授

パネルの趣旨

「円高が持続する中で、新興国市場に照準を合わせ、海外進出や海外企業の合併・買収が相次いでいます。一方で、東日本大震災やタイの洪水でサプライチェーンやギリシャ金融危機で多次元的なリスクマネジメント能力もグローバル人材の重要な要件となっています。東京大学は、グローバル化に対応して9月入学に踏み切り、また大阪大学と大阪外国語大学が合併して、積極的な教育改革が着目されています。しかし、日本の大企業やアジア人材は欧米大学や中国、シンガポール、インドなどでの教育を選択する企業も多数あり、我が国の大学の対応は十分とは言えません。国内製造業の海外売上げは35%（国際協力銀行調査2010）に達しておりますが、中小製造企業数における輸出企業数の割合は2.4%（中小企業庁2008）に過ぎません。グローバルな人材育成と教育改革は、わが国の社会再生とも密接にからんでおります。多次元的で実践的な課題と有効な提言が期待されます。」

4. 「懇親会」 18:10～20:10

大学内施設で大会参加者の交流で懇親会を行います。

5. 参加費

学会会員： 10,000円（社会人学生、代表発表者も含む）

法人会員： 10,000円

学生会員： 3,000円（学生証の提示が必要）

非会員： 13,000円

懇親会は5,000円申し受けます。

以上